

学校だより

千載一遇

第10号
松城中学校
発行 山里 望



平和学習週間終わる！



平和学習の様子

平和ってなんだろっ！

慰霊の日、沖縄県においては唯一の地上戦が行われた悲惨な歴史を風化させない、後の世代に脈々と語り継ぎ、二度と繰り返さない思いを深く理解することがこの日への思いとして込められています。松城中学校でも各学級で戦争の悲惨さ、命の尊さ、繋がる命等沖縄戦から平和について考える「平和学習週間」を実施しました。小学校低学年の頃から皆さんは、「平和学習週間」を合わせて平和について学習してきました。中学校では沖縄戦を歴史として認識し、自分事として捉え、今後私たちに何ができるか、自問自答することが平和学習の「ねらい」だと考えます。

平和って何だろっ！

多くの皆さんは戦争についてその悲惨さから二度と起こしてはならないものであることは深く理解していると思います。戦争がなければ平和であると単純に解釈するだけのものではないことも理解しています。

そこで、平和の本質について繋がる命、今ある日常への感謝、過去から受け継がれた大切な現在、そして広がる未来をその平和ということから考えた素晴らしい詩が今年、戦没者追悼式で作者本人が朗読しました。平和って何だろっ！と深く考えることができる素晴らしい詩です。紹介します。

「あなたがあの時」

沖縄県立首里高校3年 高良朱香音さん

「懐中電灯を消してください」
一つ、また一つ光が消えていく
真っ暗になったその場所は
まだ風間だというのに
あまりにも暗い
少し湿った空気を感しながら
私はあの時を想像する

あなたがまだ一人で歩けなかったあの時
あなたの兄は人を殺すことを習った
あなたの姉は学校へ行けなくなった
あなたが走れるようになったあの時
あなたが駆け回るはずだった野原は
真っ赤っか 友だちなんて誰もいない
あなたが青春を奪われたあの時
あなたはもうポロポロ
家族もいない 食べ物もない
ただ真っ暗なこの壕の中で
あなたの見た光は、幻となって消えた。

「はい、ではつけていいですよ」
一つ、また一つ光が増えていく
照らされたその場所は
もう真っ暗ではないというのに
あまりにも暗い
体中にじんわりとかく汗を感じながら
私はあの時を想像する
あなたが声を上げて泣かなかったあの時
あなたの母はあなたを殺さずに済んだ
あなたは生き延びた

あなたが少女に白旗を持たせたあの時
彼女は真っ直ぐに旗を掲げた
少女は助かった
ありがとう

あなたがあの時
あの人を助けてくれたおかげで
私は今 ここにいる
あなたがあの時
前を見続けてくれたおかげで
この島は今 ここにある

あなたがあの時
勇気を振り絞って語ってくれたおかげで
私たちは 知った
永遠に解かれることのない戦争の呪いを
決して失われてはいけない平和の尊さを
ありがとう

「頭、気をつけてね」
外の光が私を包む
真っ暗闇のあの中で
あなたが見つけた希望の光
私は消さない 消させない
梅雨晴れの午後の光を感じながら
私は平和な世界を創造する
あなたがあの時
私を見つめたまっすぐな視線
未来に向けた穏やかな横顔を
私は忘れない
平和を求める仲間として